

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	4 教育研究組織（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。	
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況	
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。	
要素		

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 定員充足率を改善する	→定員充足率	C	C	C	C	/
2. 課程博士取得率を改善する	→課程博士取得率	B	B	B	B	/
3. 学位取得に要する平均年数を短縮する	→学位取得平均年数	D	D	D	D	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2013年度の定員充足率は、博士課程前期課程が80%、博士課程後期課程が63%（前年度は、それぞれ83%、68%）であり、特に後期課程では多くの研究科で定員を満たしていない。
目標2	学位審査プロセスの明確化を図るため全研究科で学位審査基準を制定するなど、改善に努めている。
目標3	一部の研究科では、著しい業績を上げた学生に対して課程の期間短縮の制度を導入する等、改善に努めている。また、大学院生の経済的支援、複数指導体制、海外研究発表に対する助成等の施策を実施しているが、改善にはもう少し時間を要する。
備考	